

大会名: 第32回全日本クラブ男子ソフトボール選手権大会、大阪予選会

代表決定戦

会場: 大阪市 舞洲運動広場

試合日: 平成23年 5月 1日 試合No. 14

試合戦評 未来都 2年連続大阪代表に !

試合が動いたのは2回裏、未来都は2走者を塁に置いて8番寺本の三塁打と上地の犠飛で3得点。4回には二死から四球と3連続安打で2点を挙げて試合を優位に進め勝利する。

一方ISダイナマイツは、3回に2得点と反撃モードに入るも、以後の攻撃で走者を出すも未来都の開田投手に抑えられ反撃することが出来なかった。

記載者 阿武裕二

代表決定戦

試合No. 15

試合戦評 大阪FC 2年連続で代表に !

大阪FCソフトボールクラブは、初回羽田投手の立ち上がりを攻め守備の乱れに乗り3点先取。3回に野田の2点本塁打など毎回得点の攻撃と、投げては石田投手が5回1安打零封の好投を見せ5回コールドの勝利、大阪代表に名乗りを上げた。

大阪グローバルは、毎回走者を出すも1安打では反撃出来なかった。

記載者 岸本 博